

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 岡 崎 市 長

公衆への縦覧(インターネットによる公表)の対象となるため、社印、代表者印は押印しないようにしてください。

本社の住所及び代表者の氏名を記入してください。  
なお、代表者から提出を委任されている場合は、工場長等で届出可能です。(特に委任状添付の必要はありません。)

提出者

住 所 名古屋市中区三の丸〇-△-□

氏 名 〇△□株式会社

代表取締役 〇△ □×

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇52-〇△□-〇△□×

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

建設業では【作業所(現場)】が該当します。作成は「作業所(現場)」を統括的に管理する「支店等」を単位としますが、「作業所(現場)」と「支店等」が異なる行政庁の所管区域に位置する場合、「作業所(現場)」が位置する各行政庁の所管区域の事業場となります。

事業場の名称

〇△□株式会社 三河支店

事業場の所在地

愛知県岡崎市朝日町〇-〇

計画期間

平成〇〇年度(平成〇〇年4月~平成△△年3月)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

日本標準産業分類中分類(コード含む)を記入してください。

①事業の種類

06:総合工事業

②事業の規模

元請完成工事高:〇〇〇〇〇万円

③従業員数

〇〇〇人

前年度の3月31日時点

製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。

④産業廃棄物の一連の処理の工程

(建築物解体)

がれき類→再生処理業者に委託し、破碎後、再生砕石として再資源化  
木くず→再生処理業者に委託し、破碎後、チップとして再資源化  
混合物→最終処分業者に委託し、選別後、破碎・焼却・埋立処分

(建設工事)

がれき類→再生処理業者に委託し、破碎後、再生砕石として再資源化  
廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、圧縮後、RPF燃料として再資源化

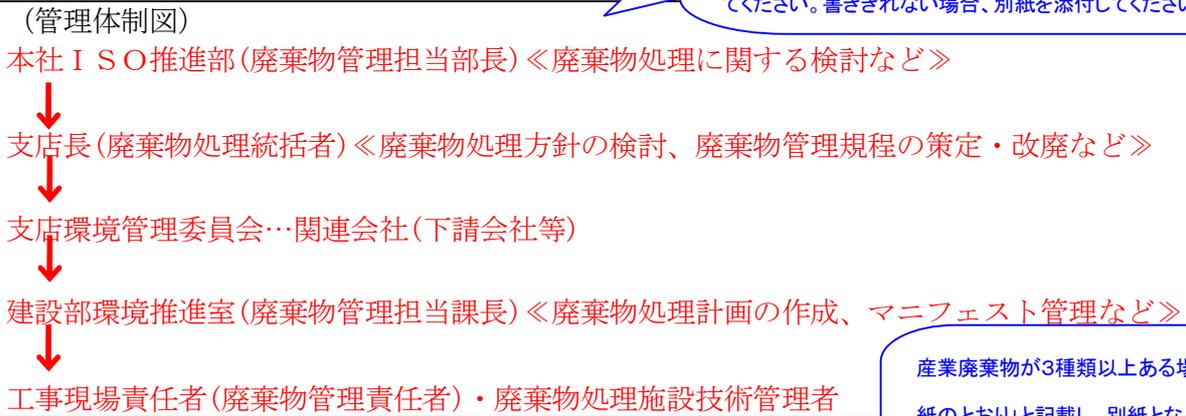
(基礎工事)

汚泥→中間処理業者に委託し、脱水後、土壌改良材として再資源化

当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。書ききれない場合、別紙を添付してください。

管理体制図には、役職名、産業廃棄物処理に係る役割を記載してください。なお、既存資料を添付することも可能ですが、個人情報に該当する内容(社員の個人名等)については、削除してください。書ききれない場合、別紙を添付してください。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物が3種類以上ある場合は、「別紙のとおり」と記載し、別紙となる表を各自で作成してください。様式はありません。(第2面から第5面まで同様です。)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) <b>【建設業】</b> 実寸発注の実施(木くず) 余剰材の引き取り(木くず) 工法の改善(汚泥)など <b>【製造業】</b> 生産設備の更新を順次行い、発生抑制(廃プラスチック類) 排水処理設備の修繕を行い、汚泥の脱水効率の向上(汚泥)など		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 上記と併せ下記の取組の実施を検討 工法の改善(例:現場加工→工場製作・現場組立)(木くず) 梱包材の簡素化(廃プラスチック類) 生産工程のクローズ化による発生抑制(廃プラスチック類) ペレット製造機の温度調整による発生抑制(廃油) 排水処理設備の更新を検討(汚泥)		

①現状及び②計画については、取組内容及び対象となる産業廃棄物の種類を記載するなど、具体的に記載してください。(第2面から第5面まで同様です。)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類(コンクリート塊、アスファルト塊)、ガラス・陶磁器くずはそれぞれ分別し保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、廃プラスチック類、木くず、廃石膏ボード及び金属くずについても分別し保管する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 未実施 型枠については、可能な範囲で再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 現場内での自ら利用を実施（がれき類、汚泥）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 未実施 工法に応じ、脱水等が可能なものは脱水又は乾燥を実施(汚泥)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 再生処理施設(破碎など)、選別施設の設置を検討する。 減量、熱回収等の中間処理については、委託処理により実施予定。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 未実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 法令(委託基準)に従い、業者と書面により委託契約を締結する。 可能な範囲で再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

再生利用業者への処理委託量とは、以下の業者に委託した量を指します。

- ・登録廃棄物再生業者(法第20条の2)
- ・再生利用認定業者(法第15条の4の2)
- ・その他、上記以外で、事業者が委託した産業廃棄物を再生処理(がれき類→RC材など)していることが確実な再生事業者

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を選定する。</p> <p>再生利用業者、熱回収業者への処理委託の推進</p> <p>電子Manifestの対応が可能な処理業者の選定</p> <p>委託先処理業者には定期的に実地確認を実施</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。